



**②の曲輪礎石建物** 二の曲輪には複数棟の建物が存在した。そのうち南端一棟は礎石を利用した丈夫な構造の建物跡。



**⑤の曲輪復元礎石建物** ⑤の礎石建物跡が平面復元展示されています。



**三の曲輪掘立柱建物** 三の曲輪は、勝間田城のなかで最も広い曲輪です。火災にあったと思われる掘立柱建物跡、土留した馬洗場(水場)、井戸が確認されています。



**③の曲輪土塁** 曲輪を平坦に造成した際の廃土が硬く積み重なっていました。土塁を挟み、二の曲輪よりも三の曲輪は高低、段違いの地形です。



**①本曲輪** 本曲輪は四方を小規模な曲輪と堀切で囲み防御しています。勝間田氏を偲ぶ勝間田神社・石碑・勝間田長清の歌碑があります。



**②本曲輪土塁** 本曲輪造成時の廃土を内側から周囲に盛り、高さ2m以上の厚い強固な土塁が築かれています。



**③南尾根曲輪** 牧之原台地へ通じる最高所の南端曲輪です。平面が「く」の字状にみえる土塁は曲輪西半分を占めます。



**④東尾根堀切** 鋭く切り込まれた5重の堀切は、東方向からの敵兵進入を防ぎます。東尾根曲輪では、柵に囲まれた物見台が発見されています。